

新型コロナ陽性者発生、ス

►介事連緊急調查◄

調査は1月18日から
25日にかけて会員施設
等を対象を行い、15
事業所(うち本道
230事業所)が回答
した。サービス種別は
通所介護52%、認知症
グループホーム13%、
有料老人ホーム12%、
訪問介護8%など。
経営への影響をみると
と、1月1～15日の売
陽性となつた利用者の医療機関への
入院は迅速に行われたか

Response	Percentage	Count
いいえ(翌日以降)	22.8%	41
はい(即日もしくは翌日)	57.8%	104
その他	19.4%	35

704事業所
(46・7%)が
「10%以上の
減収」となつ
た。

これまでに
利用者から新
型コロナ陽性
者が発生した
ところ
のうち
「未満」約半数「10～20
%未満」26・4%、「20
～40%未満」13・5%
など。全体の半数近い
事業所で「40%未
満」13・5%が
「10%以上の
減収」となつ
た。

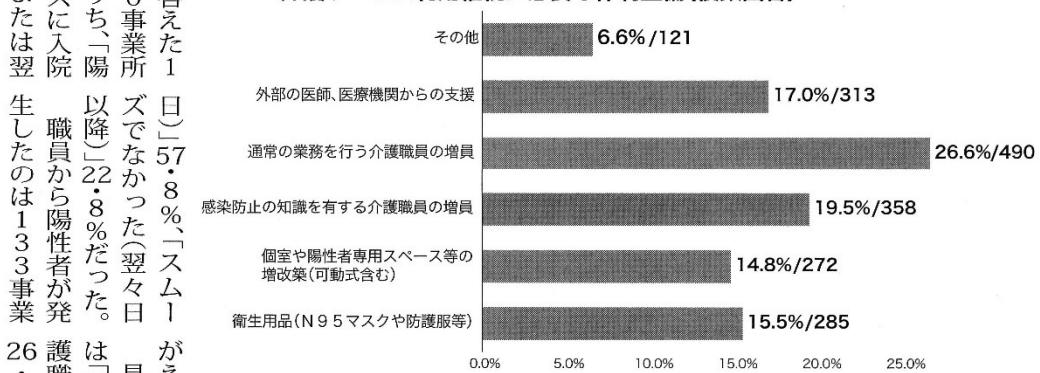
木満²⁶・4%、「20
主体の半数近い
70.4事業所
(46・7%)が
「10%以上の
減収」となつ
た。
これまでに
利用者から新型コロナ陽性者
者が発生した

自施設ケア想定、
増員など対応も

利用者に新型コロナウイルス感染症陽性者の発生した介護施設・事業所の2割超でスムーズに入院できていない実態が、全国介護事業者連盟(介事連)の実施した緊急調査結果で明らかになった。6割近い事業所は陽性者が発生しても入院できないケースを想定し、人員配置を手厚くするなど準備を整えていることも分かり、国に介護事業者支援拡充を求めている。

介護事業者支援拡充求める

事業所内で陽性となった利用者が医療機関へ入院困難な場合、介護サービス利用継続に必要な体制整備(複数回答)



る。
具体的な準備・対応
通常業務を行う介
職員が最も多く、ワクチン接種など検討
- 6%、次いで「感染
も求めた。